

# 利根川河口堰を通る"魚"



利根川河口堰は河口から18.5kmの感潮(干・満潮)区域に位置し、水道用水などの取水に支障のない範囲で、汽水域(淡水と海水がまじりあった塩分の少ない水がある区域)を形成する制御が特徴です。河口堰の周辺には多様な魚種が往来するので、魚類が通過できるように、魚道が整備されています。



老朽化が進んでいた石岸魚道は、今年の3月に改築工事が完了し、多様な魚種が利用できる魚道(多自然型魚道)も新設されました。



利根川下流部に生息している魚類は、80種以上になり、今年の春に行った調査では、1時間の間に177匹のアユや鮭の稚魚等が確認されました。

調査では、1時間の間に177匹のアユや鮭の稚魚等が確認されました。

## トピックス

5月	潮来トリアスロン大会	8月	霧ヶ浦環境科学センター夏祭り2010
6月	霧ヶ浦合同水防訓練 利根川連絡水路機能点検	9月 1日	地震防災訓練
7月	泳げる霧ヶ浦市民フェスティバル 香取市民レガッタ 沈水植物復元試験観測関係者視察会 霧ヶ浦横断泳を楽しむ会	10月11日	東庄町RC航空ショー
8月	水の遊園(外)in霧ヶ浦 水の遊園(外)河口堰フェスタ2010 行方市児童環境セミナー	17日	霧ヶ浦検定
		11月 3日	東庄ふれあいまつり



ぎょうじ君(河口堰マスコット)



ミズリン



かずみちゃん

\*\*\*詳細はホームページを見てね\*\*\*

## 編集後記

水資源機構では毎年8月1日～7日を「水の週間」として、各種イベントを行ってきました。そして、今年も利根川下流総合管理所では霧ヶ浦のふれあいランドと利根川河口堰でイベントを行い、盛況のうちに終えることができました。私たち職員が気持ちを込めて準備をしたイベントに来ていただき、笑顔を見たときは「来年も頑張ろう!」との気持ちになります。

この広報誌も読んでいただいた皆さまに次号の発刊を楽しみにしていただけるようなものにしていきたいと思います。



利根川下流総合管理所 〒300-0732 茨城県稲敷市上之島3112 ☎0299-79-3311 FAX 0299-79-3316  
 利根川河口堰管理所 〒289-0611 千葉県香取郡東庄町新宿2276 ☎0478-86-0477 FAX 0478-86-3457  
 玉造管理所 〒311-3512 茨城県行方市玉造甲1234 ☎0299-55-4331 FAX 0299-55-4310  
 ※ご意見、ご質問等ございましたらご連絡なくお寄せ下さい。(メールアドレス:mizu-tonekaryu@nifty.com)

# 水の郷から

みず さと  
 ~坂東を潤すみずがめ、霧ヶ浦~ vol.2

発行所  
 独立行政法人水資源機構  
 利根川下流総合管理所  
 広報誌編集委員会  
 メールアドレス  
 mizu-tonekaryu@nifty.com  
 ホームページアドレス  
 http://www.water.go.jp/  
 kanto/kasumiga/

## ちよっくら散歩 ~稲敷市~

ホームページアドレス: http://www.city.inashiki.lg.jp/

### プロフィール



今回は、当管理所があります稲敷市を紹介します。稲敷市は、平成17年3月22日に江戸崎町、新利根町、桜川村、東町が合併して誕生しました。場所は、茨城県南部に位置し、

人口は約5万人、面積は約206km<sup>2</sup>の豊かな水と自然環境に恵まれた緑あふれる田園都市です。また、県南の大穀倉地帯でもあり、釣りなどのレジャーやバードウォッチングなどでも多くの人々に親しまれています。

### 江戸崎かぼちゃ



「江戸崎かぼちゃ」は、茨城県銘柄産地の指定を受けています。首都圏では高級料亭などでも使用され、粉質度高く、栗のようにホクホクとした口当たりで、甘さもたっぷりあるのが特徴です。出荷は5月下旬から始まり、最盛期は6月下旬となります。

### 大杉神社

大杉神社は、勝道上人(しょうどうしょうにん)により奈良時代に創建されました。社殿は江戸末期に再建され、多くの彫刻で装飾されています。境内には2本の大杉の神木があり、海や川の守り神と

して、漁業関係者の信仰を集めてきました。地元の人々からは「あんばさま」の呼び名で親しまれています。



### 横利根閘門

水面に高低差がある場所で扉を開閉させることで水位を調節し、船を往来させるための施設です。霧ヶ浦と利根川をつなぐ横利根川の利根川合流地点に大正10年に設けられたレンガ式の貴重な閘門です。現在は、国指定の重要文化財にも指定され現役としてっぱに役目を果たしています。



### 妙岐の鼻

妙岐の鼻は、浮島地区の一角にあり、約50haの湿地には多くの鳥類が生息しています。この鳥類の中には固有種のオオセッカ、コヨシキリ、コジュリンなどが生息し、野鳥観察会から観察することができます。また、湿生植物の観察ができる水辺デッキ、木道も整備されています。皆さま、ぜひ、足を運んでみてはいかがでしょうか。



コジュリン

## 8月の行事にはたくさんの方々に参加頂きました!!

### 水の週間イベントin霞ヶ浦

8月1日(日)「水の日」に霞ヶ浦ふれあいランドで「水の週間イベントin霞ヶ浦」を開催しました。晴天の中、実にた



足水コーナー

くさんの方々にお願いいただき、魚のつかみ取りや足水コーナー、巡視船による湖上観察、水質学習、クイズラリー等、水に関する様々なコーナーに参加していただいたことで、水資源の大切さを知っていただくことができました。



魚のつかみどり

### 河口堰フェスタ2010

8月1日(日)、利根川河口堰管理所で「河口堰フェスタ2010」を開催しました。今年も地元 栗 町、水機構千葉用水総合管理所と共催で行いました。当日は天候にも恵まれ、約300名の方が管理所を訪れ、巡視船による乗船体験や、普段は見ることのできない操作室の見学などを行い、水の大切さや機構の仕事について、大変興味深く関心を持っていただきました。



乗船体験



操作室見学説明

### 水質体験学習会

8月2、4、9～11日の5日間、行方市玉造の霞ヶ浦ふれあいランドにある水質学習棟で「行方市児童環境科学セミナー」が開催されました。霞ヶ浦の水質についてどの様にすればきれいに出来るかを学ぶため、当機構職員も参加児童の水質学習のお手伝いをしました。毎年子供たちが夏休みに入る8月頃に行われる行事で、今年は、行方市内15校約240名の小学5年生が参加し、船に乗っての採水や顕微鏡によるプランクトン観察、学習棟では水の汚れ具合の測定やペットボトルを使ったろ過実験に取り組みました。特に顕微鏡でのプランクトン採りでは、感動した子供たちの姿が見られ、「まとめ」のグループ発表では、子供たちの話し合いを通して霞ヶ浦の水質浄化の意識も高められたようです。



湖上観察



プラウトネットによる採取



ろ過実験



グループ発表

## 『沈水植物復元試験』～経過報告～

### 沈水植物 霞ヶ浦湖内で順調に生育!

昨年9月霞ヶ浦湖内(美浦村木原の沖合約50m)に鋼製の鉄板で囲った試験場(20m×20m)を設置し、その中に沈水植物(在来種:ツバモ、ヒモ、ヒヨクモ、リカルゲモ)の植え付けを行いました。当初草丈15cmのものを植え付けましたが、約2ヶ月後には1m程度にまで順調に成長しました。その後、冬季に一部の植物が枯れてしまったものの、今春には、再び新しい芽を出し、植物の世代交代を確認することができました。



美浦村木原の試験場



順調に成長したササバモ

結果として、波浪を防ぎ、植物の生育に必要な光を確保することができれば、現在の霞ヶ浦でも沈水植物を再生できることがわかりました。

今後も霞ヶ浦に沈水植物を広げるため、生育条件や植物の浄化の効果についてさらなる調査をしていきます。



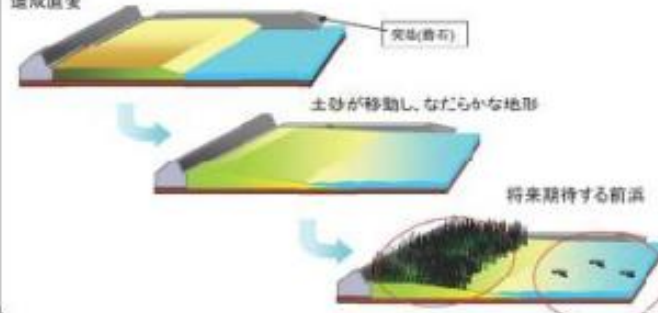
試験位置図

## 「前浜造成!?!」どんな仕事なの?

浚渫(水底の土砂などをさらって取り除くこと)により発生した浚渫土を利用して、護岸前面に植生基盤や砂浜を造るもので、浚渫土の処分と環境保全対策(湖岸植生の復元とワカサギ等の産卵環境の改善)を目的としています。

造成後の前浜は、波浪で自然に起こる土砂移動を利用して安定した地形となるように計画しています。これにより陸域から湖に向かって緩やかな傾斜できることから、湖岸植生の復元、ワカサギ等の産卵環境の改善を期待しています。また前浜造成後は、地形観測や生物調査等モニタリング調査を実施しています。

造成直後



造成前



造成(4ヶ月)後